

記入例 大気基準適用施設の場合

記入例

様式第1 (第4条関係)

特定施設設置~~(使用、変更)~~届出書

令和〇〇年 〇月 〇日

千葉県知事 〇〇 〇〇 様

千葉縣市原市千種海岸〇-〇

届出者 千葉工業株式会社

代表取締役社長 千葉 太郎

TEL 043-〇〇〇-△△△△

ダイオキシン類対策特別措置法 第12条第1項 (~~第13条第1項又は第2項、第14条第1項~~)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	千葉工業株式会社市原工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	市原市五井南海岸△	※ 受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	5 廃棄物焼却炉 1基	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙1、水質基準対象施設にあつては別紙4のとおり。	※ 審査結果	大気基準適用施設の種別と数を記入。
△ 特定施設の使用状況	大気基準適用施設にあつては別紙2、水質基準対象施設にあつては別紙5のとおり。	※ 備考	連絡先と産業分類を記入。
△ 発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理方法	大気基準適用施設にあつては別紙3、水質基準対象施設にあつては別紙6のとおり。		

(連絡先) 千葉工業株式会社市原工場 工務課 千葉 次郎 043-〇〇〇-△△△△

(産業分類) 1453 段ボール箱製造業 資本金: 3000万円

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあつては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
  - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		紙くず焼却炉	
特定施設番号及び名称		廃棄物焼却炉	
型	式	△△社製 HTM-110型	
施設の設置場所		別紙のとおり	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日		令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
規 模	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	炉の容量 (t)		
	焼却能力 (kg/h)	76	
	火床面積 (m <sup>2</sup> )	1.14	
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

工場又は事業場における施設番号		紙くず焼却炉		
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	9時～16時 20日/月		
	季節変動	なし		
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	1 木くず 2 紙くず 3 廃プラスチック類		廃棄物焼却炉にあつては「種類」の欄には廃棄物の種類を、「使用割合」の欄には廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
	使用割合	1 80% 2 15% 3 5%		
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合 (%)	1 0.05% 2 0.05% 3 1%		
	1日の使用量	1 400kg 2 75kg 3 25kg		
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		湿り 1,050 最大 乾き 1,000	湿り 840 通常 乾き 800	最大 通常
排出ガス温度 (°C)		200		
排出ガス中の酸素濃度 (%)		15		
排出ガス中のダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )		最大 1	通常 0.1	最大 通常
その他参考となるべき事項		燃焼室容積 10 m <sup>3</sup>		廃棄物焼却炉の場合。

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

## 発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1号焼却炉	
名称及び型式	バグフィルター △△社製BF-10	
発生ガスの処理の内容	ばいじんの除去	
処理の系統	別紙参照	
施設の設置場所	別紙参照	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	煙突高さ GL+6m 煙突口径 0.35mΦ	必ず記載すること。

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。